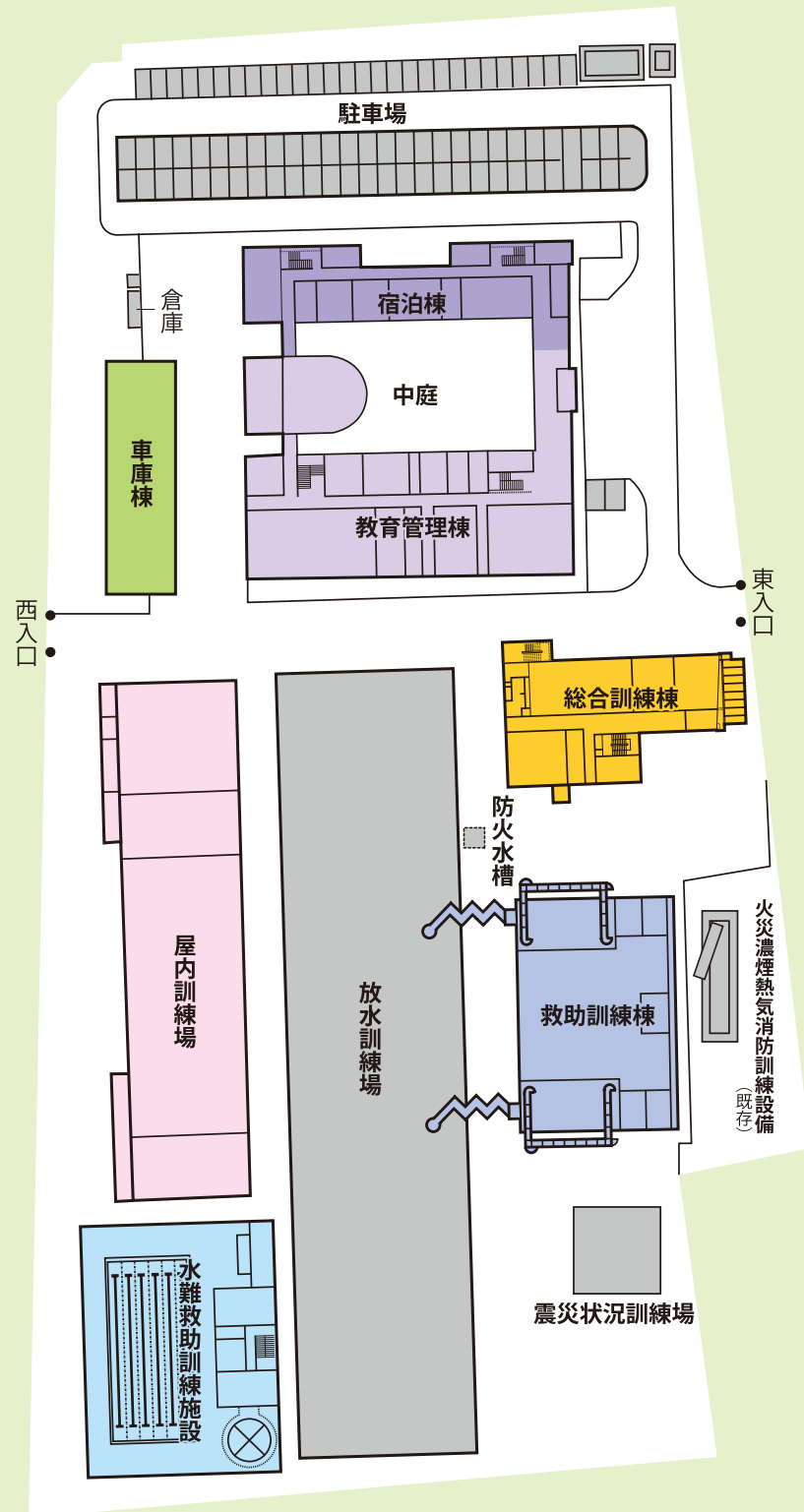




配置図

敷地面積 約 39,000 m²
内グラウンド 約 10,000 m²
延べ床面積 約 9,000 m²

グラウンド

主要施設概要

教育管理棟

- 延べ床面積 約 2,223 m²
- 鉄筋コンクリート造 (RC) 一部鉄骨造 2 階建て

宿泊棟

- 延べ床面積 約 2,106 m²
- 鉄筋コンクリート造 (RC) 一部鉄骨造 3 階建て

救助訓練棟

- 延べ床面積 約 246m²
- 鉄骨 (S) 3 階建て

総合訓練棟

- 延べ床面積 約 1,464 m²
- 鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 一部鉄骨造 5 階建て

屋内訓練場

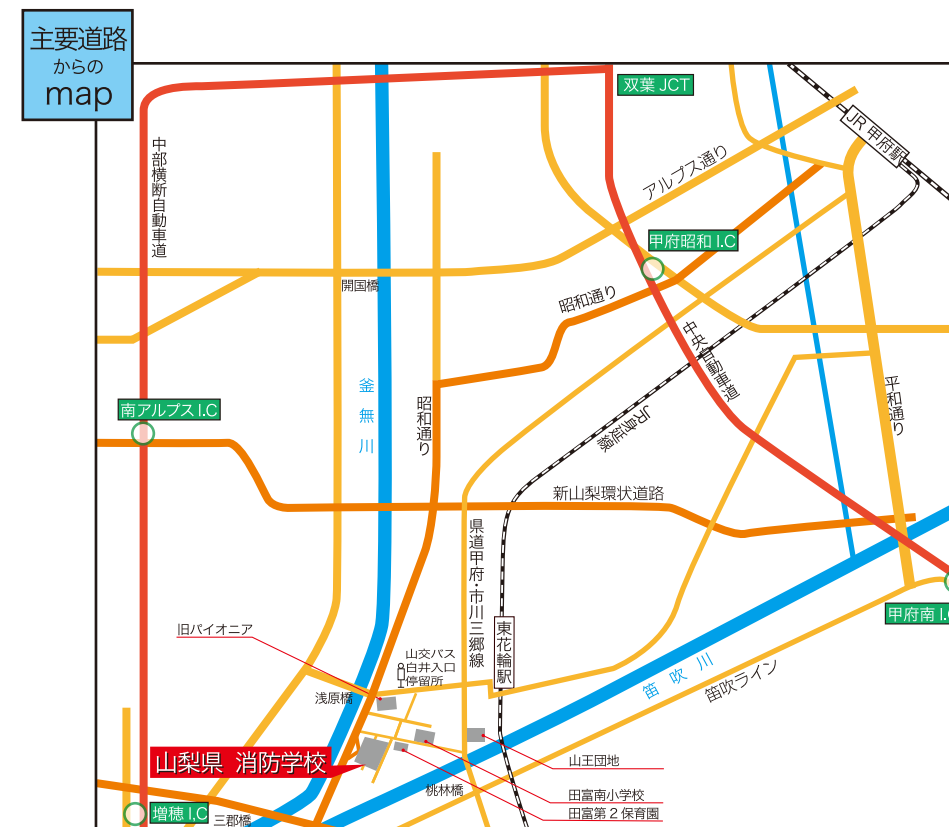
- 延べ床面積 約 2,261 m²
- 鉄筋コンクリート造 (RC) 一部鉄骨造 2 階建て

水難救助訓練施設

- 延べ床面積 約 299 m²
- 鉄筋コンクリート造 (RC) 一部鉄骨造 2 階建て

車庫棟

- 延べ床面積 約 394 m²
- 軽量鉄骨造 (LGS) 1 階建て



山梨県消防学校

〒409-3834 山梨県中央市今福1029 番地1

TEL 055-273-4078

FAX 055-273-4009

E-MAIL shobo-gk@pref.yamanashi.lg.jp

HP <http://www.pref.yamanashi.jp/shobo-gk/index.html>



山梨県消防学校



山梨県

水難救助訓練施設

●25m プール



起流発生装置で水流を発生させることにより、河川と同等の流水環境で実践的な急流救助訓練が実施できます。

●潜水プール



水深 8mにおいて水難救助訓練が実施できます。

救助訓練棟



●火災濃煙熱気消防訓練設備



コンテナ内部で木製パレットを燃焼させることにより、熱気や煙を発生させ火災性状を体験的に学ぶことができる設備です。

屋内訓練場



長さ80m、幅 20m、高さ13mの空間に渡り、登はん及び降下施設を有し、雨天時でも放水訓練やポンプ車操作などの各種消防操法が実施できる訓練場です。

屋内訓練場

水難救助訓練施設

震災状況訓練場

救助訓練棟

火災濃煙熱気消防訓練設備

総合訓練棟

教育管理棟

宿泊棟

総合訓練棟

●山岳救助訓練施設



岩山と法面を模した形状の斜面及び、45 度と 60 度の斜度を有する山岳壁を活用し、実践的な山岳救助訓練が実施できます。

●迷路訓練室



金属製間仕切りの組みかえにより、進入経路を複雑化させることが可能であり、習熟度に応じた屋内進入・検索救助訓練が実施できます。

教育管理棟

●大教室



150 名を収容し、教育訓練や各種式典に使用します。

●普通教室



教育訓練の内容・目的に応じて、パーテーションにより分割し、2 教室（60 名：40 名）として使用できます。

●理化学実験室



危険物及び火災調査に係る各種実験、実習を行います。

●分析室



X 線透過画像分析装置、デジタルマイクロスコープ等の高度な分析・実験機器を備えた実習室です。

●救急実習室



救急自動車の搬入が可能であり、遠隔モニタリングシステムによる ICT（情報通信技術）を活用した実践的な救急活動訓練を行います。

宿泊棟



男性用 13 室・女性用 2 室があり、各室定員 4 名として、60 名が宿泊できます。



寮室内供用スペース

●図書室



●トレーニング室



●食堂

